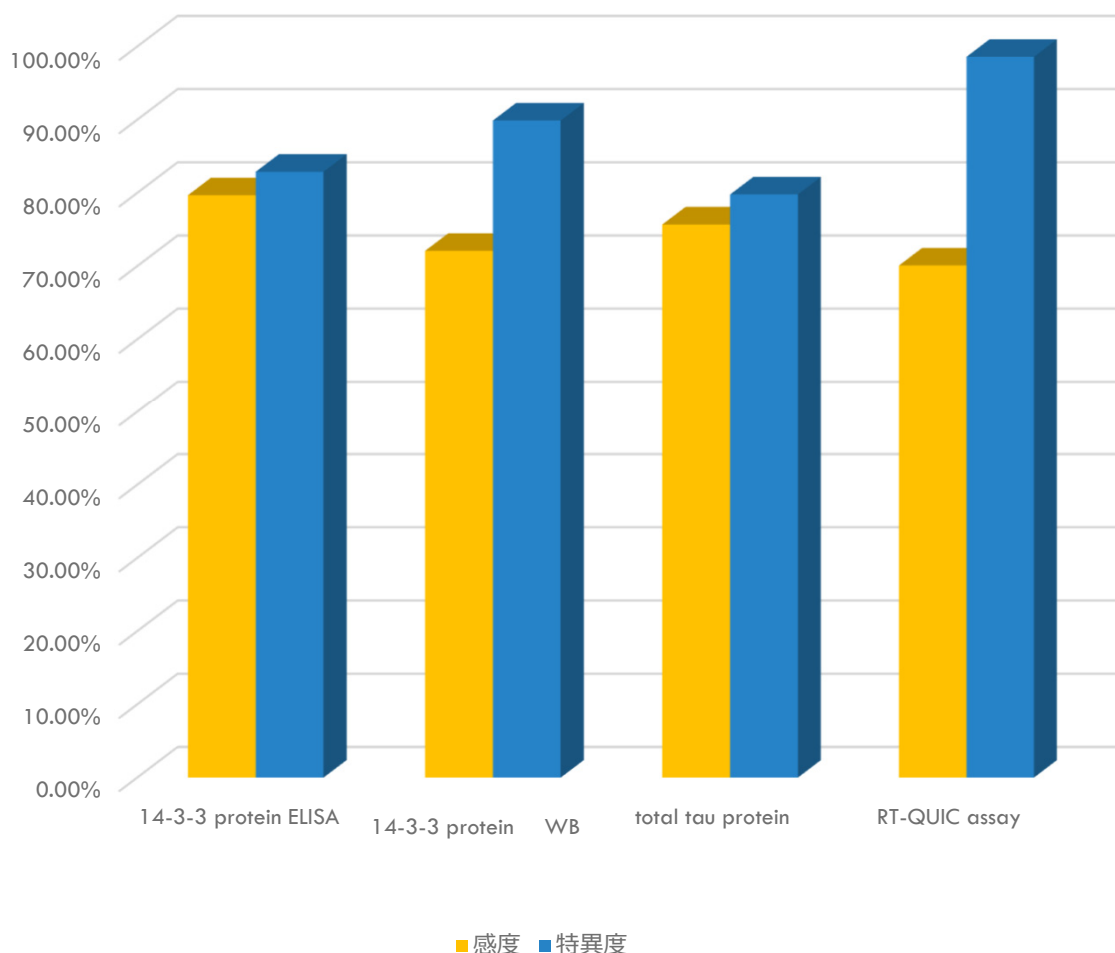


プリオン病サーベイランスにおける、ヒトプリオン病の患者の髄液中のバイオマーカーの解析

研究分担者:長崎大学医歯薬学総合研究科運動障害リハビリテーション分野、佐藤 克也、



解 説

1. ヒトプリオン病の患者における孤発性プリオン病の髄液中のバイオマーカー(14-3-3蛋白ELISA, 14-3-3蛋白WB, 総タウ蛋白, RT-QUIC法)では感度81.7%, 71.1%, 74.9%, 70.3% 特異度は79.2%, 85.1%, 77.6%, 98.9%であった。
2. RT-QUIC法は100%ではなく、擬陽性症例は13例であった。早期でバイオマーカーと異常プリオン蛋白試験管内増幅法(RT-QUIC法)で陰性だった症例で1か月の再提出で陽性になった症例が8例あった。